

政策評価調書(27年度実績)

政策名	変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	政策コード	Ⅱ-1	関係部局名	農林水産部
-----	--------------------------	-------	-----	-------	-------

【Ⅰ. 政策の概要】

農林水産業の成長産業化に向け、マーケットインの商品づくり、力強い担い手の確保・育成をはじめとする構造改革の取組を加速するとともに、元気で豊かな農山漁村の継承を図り、農林水産業・農山漁村が産み出す価値の向上を目指す。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	構造改革の更なる加速	達成	A
2	マーケットインの商品(もの)づくりの加速	達成	A
3	経営マインドを持った力強い担い手の確保・育成	概ね達成	A
4	元気で豊かな農山漁村の継承	概ね達成	A

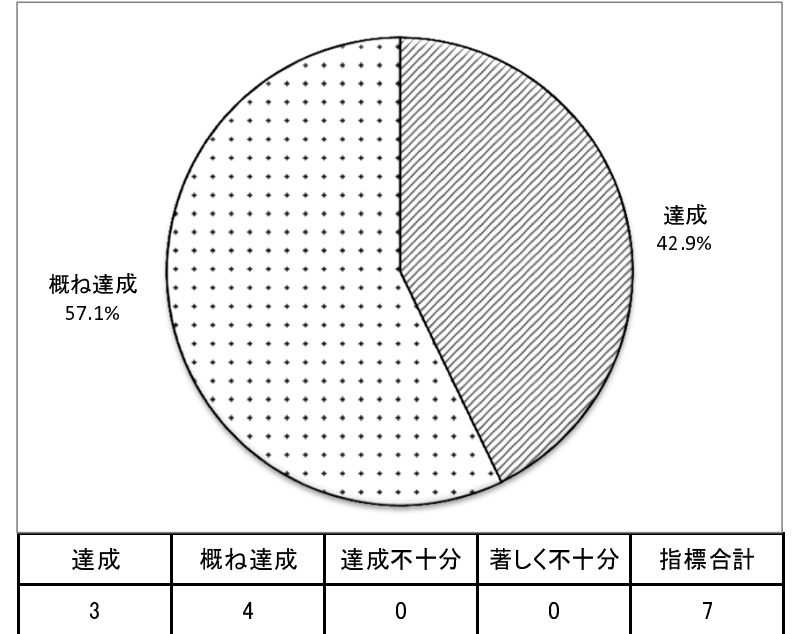
【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

経済のグローバル化の進展や、人口減少の本格化による国内市場の縮小、ライフスタイルの変化による消費者ニーズの多様化など、農林水産業を取り巻く情勢は大きく変化している。そのような中、安全・安心な農林水産物としての海外での高い評価を背景に、輸出の拡大に向けた取組が進んでいる。さらには、戦後の植林が成熟期を迎える林業におけるCLTの活用のほか、健康・美容・有機などの新たな需要の取り込みに向けた研究・開発など、産地間の競争は熾烈を極めていく。

こうした環境の変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するためには、先駆的な経営体の育成や新たな経営体の確保・育成、輸出拡大、農商工連携による付加価値の向上などの構造改革を加速させるとともに、マーケットに対応できる流通・販売体制の構築、「The・おおいた」ブランドの確立に取り組むことが必要である。また、地方創生や農林水産業の持つ多面的機能の維持・保全の面からも、元気で豊かな農山漁村の継承の仕組みづくりに積極的に取り組む必要がある。

これらの取組を進めるうえでは、大学や民間企業との連携等によるIoT、ドローンなどの新技術の活用、市町村・関係団体と連携した農地の掘り起こし、企業参入の促進など官民が一体となった取組が必要である。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—